

デザイン教育に活かすデザイン および造形の実践的研究

芸術学部
生活環境デザイン学科
教授

栗田 融



研究シーズの紹介

本研究は、具体的にデザインを行うことや造形作品を制作し展覧会へ出品することを実践して得た知見を造形デザイン教育(主に空間演出デザイン)に活かすことを目的にしている。デザインは社会との関係が不可欠であることから、実践的な活動を通じて直面する課題はリアルであり、その解決を図る経験は、デザイン教育にとって有効である。また、造形デザイ

ンを学ぶうえで必要となる基礎造形の教育においては、教育者自身が造形経験を積むことによって、より的確なアドバイスが与えられると考えている。さらに、地域や社会から造形体験や空間演出に関する相談を受けた場合、そこに学生を参画させることで、相談者や学生それぞれにとってメリットを生む効果も実感している。



空間演出技術

- あらゆる施設（空間）の演出が可能です。
- 空間を媒体にしたコミュニケーションができます。

空間デザインの実践



造形作品の制作・展覧会出品



デザイン教育への還元
施設（空間）の演出
造形ワークショップ
造形教育の教材開発

期待される活用シーン

- 現有施設の空間演出をしたい
がわからない
- 施設利用者に造形体験の機会を提供したい



これまでの実績をもとに、季節の
空間演出を計画したり、造形ワー
クショップの運営をお手伝いでき
ます。



- 造形教育に関する教材開発
をしたい
- 生徒や子供に造形体験の機
会を与える



これまでの実績をもとに、造形教
育における教材開発や造形ワー
クショップ開催のお手伝いができ
ます。



他の研究テーマ

- ・仮設空間に関する研究
- ・展覧会を通じた交流に関する研究